

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【環境政策課】</p> <p>琵琶湖環境行政企画調整費</p>	<p>74,100 (70,444)</p> <p>国 25,546</p> <p>繰 18,804</p> <p>⊖ 29,750</p>	<p>琵琶湖環境行政の企画および総合調整を行う。</p> <p>挑 1 国立環境研究所連携推進事業 51,196          国立環境研究所琵琶湖分室と連携し、琵琶湖の水・湖底環境や在来魚等に関する調査研究を実施するとともに、研究成果等を水環境ビジネスやサイエンスエコツアーに活用し、琵琶湖の保全再生および地域資源の活用を推進する。</p> <p>①国立環境研究所琵琶湖分室との共同研究 34,087 (34,087)          ②水環境技術開発の推進等 17,109 (18,528)</p> <p>2 琵琶湖環境に係る連携研究の推進 18,804          琵琶湖環境に係る庁内連携研究として、琵琶湖流域におけるプラスチックごみの収支・起源と情報発信に関する研究を行い、研究成果をプラスチックごみの発生抑制に向けた効果的な啓発施策等につなげる。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
環境政策推進費	<p>31,461 (28,936)</p> <p>繰 7,247</p> <p>⊖ 24,214</p>	<p>持続可能な社会づくり推進に向けた取組を実施する。</p> <p>1 「びわ湖の日」活動推進事業 9,291 「びわ湖の日」をきっかけとして、県民をはじめとする多くの人に琵琶湖の価値を認識してもらい、環境を守るための活動を促すため、学校・企業等と連携を図りながら、琵琶湖と関わり学ぶ機会を創出するとともに、県内外に広く琵琶湖の多様な価値を発信する。</p> <p>①若者との協働による琵琶湖の価値発信 3,094 (3,500) ②琵琶湖ハンドブック等の改訂 3,206 (-) ③「びわ湖の日」環境イベント等による啓発 2,991 (2,767)</p> <p>2 自然体験を通じた環境学習推進事業 5,000 子どもたちが主体的に地域の環境について学び、行動する力を育むため、滋賀県の豊かな自然を活かし、環境学習に係る人材育成や自然体験機会の充実を図る。</p>
試験研究費 (琵琶湖環境科学研究センター)	<p>207,428 (210,304)</p> <p>国 5,778</p> <p>財 72</p> <p>繰 60,490</p> <p>諸 20,913</p> <p>⊖ 120,175</p>	<p>琵琶湖環境科学研究センター第七期中期計画に基づき試験研究を推進する。</p> <p>挑 1 試験研究の推進 53,047 琵琶湖と滋賀県の環境にかかる3つの基本的課題である「琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用」「環境リスクの低減による安全・安心の確保」「気候変動影響を踏まえたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり」に対応する試験研究を推進する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
管理運営費 (琵琶湖博物館)	344,268 (499,347)  国 9,696  使 79,626  諸 3,647  起 2,000  ⊖ 249,299	琵琶湖博物館の管理運営を行うとともに、効果的な広報を行う。  挑 1 琵琶湖博物館魅力創造発信事業 20,550 博物館の認知度を向上させ、より多くの利用を促進するため、メディアへの宣伝活動や動画配信等を通じて、琵琶湖博物館の魅力を効果的に発信する。
調査・資料収集事業費 (琵琶湖博物館)	156,981 (178,033)  使 34,559  寄 7,857  線 5,582  諸 23,150  ⊖ 85,833	「湖と人間」について、幅広いテーマで研究・調査に取り組むとともに、成果の発信、博物館資料としての活用、水族資料の管理等を行う。  1 研究調査の実施 26,400 琵琶湖の生成や、琵琶湖と人々の関わりに関する研究に取り組むとともに、琵琶湖地域の自然、歴史および暮らしの研究・調査を総合的に推進する。  2 デジタルミュージアム推進事業 31,002 いつでも、どこでも琵琶湖博物館の資料・標本の閲覧を可能にするため、琵琶湖博物館の資料・標本をデジタル化し、ホームページで公開するとともに展示に活用する。  ( ①デジタルミュージアムの整備 19,450 (35,287) ②生物分布デジタルマップの作製 11,552 (14,713) )

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
展示事業費 (琵琶湖博物館)	298,367 (82,671)	研究・調査の成果や地域に根ざした身近な話題を材料として、人と自然の関わり等について展示を行う。
	使 94,607	1 企画展示の開催 8,106
	財 760	企画展示「(仮称)湖底探検Ⅱ ～水中の草原を追う～」を開催する。
	寄 40,000	2 水族展示室復旧事業 203,000
	起 142,500	水族展示室の全部復旧に向けて、ビワコオオナマズ水槽およびコアユ水槽の再整備を行うとともに、ふれあい水槽の更新を行う。
	⊖ 20,500	

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【琵琶湖保全再生課】</p> <p>琵琶湖総合保全対策費</p>	<p>87,165 (181,573)</p> <p>国 25,421</p> <p>寄 900</p> <p>線 41,447</p> <p>⊖ 19,397</p>	<p>琵琶湖の保全再生の推進に必要な調査・事業を実施する。</p> <p>1 早崎内湖再生事業 53,806 内湖再生に向けて、北区においては完成に向け湛水し調査等を行い、南区では今後の整備に向けた詳細設計を行う。</p> <p>挑2 マザーレイクゴールズ推進事業 13,395 琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ（MLGs）の推進に向け、WEBサイトの運営やワークショップ等の開催のほか、新たに小学生向けの学習動画を制作する。</p> <p>挑3 湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信 7,212 第10回世界水フォーラムに参加し、MLGs や琵琶湖の保全再生の取組等について世界に向けて発信する。</p>
<p>水質保全対策費</p>	<p>39,981 (42,359)</p> <p>国 14,600</p> <p>⊖ 25,381</p>	<p>1 西の湖における水質改善実証モデル事業 14,600 水質悪化やアオコの発生が頻繁に見られる西の湖において、アオコの発生抑制や、水質および底質の改善効果を検証するために、酸素を湖底に供給するなどの実証試験を実施する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
ヨシ群落保全事業費	23,053 (18,375)  国 3,600  寄 3,600  起 3,900  繰 7,534  ① 4,419	<p>琵琶湖のヨシ群落を持つ多様な機能が健全な形で発揮されるよう、ヨシ群落保全条例および「ヨシ群落保全基本計画」に基づき、適切な保全策を講じる。</p> <p>1 ヨシ群落保全管理事業 12,600 湖国らしい郷土の原風景であり、人々に安らぎを与え、生物の成育や生息の場となるなど様々な機能を有するヨシ群落の保全・再生を図る。</p> <p>2 ヨシ群落維持再生事業 10,034 健全なヨシ群落を保全・育成するため、ヤナギの伐採、調査等の維持管理を実施する。</p>
水草刈取事業費	222,115 (288,270)  国 5,150  財 498  繰 126,765  ① 89,702	<p>水草の大量繁茂が生活環境や生態系などに深刻な影響を与えるため、水草の表層刈取りや根こそぎ除去を実施する。また、刈り取った水草は農地で有効利用し、資源循環を図る。</p> <p>1 水草刈取事業 103,755 夏季の水草大量繁茂による航行障害や悪臭などの生活環境への悪影響を軽減するため、緊急性や公共性の高いところから計画的に表層刈取りを実施する。</p> <p>2 水草除去事業 106,920 水草大量繁茂による湖流の停滞、湖底の泥化など自然環境や生態系への悪影響を改善するため、南湖で水草の根こそぎ除去を実施する。</p> <p>挑3 水草等対策技術開発支援事業 10,300 企業や大学等から水草等の有効利用等について新たな技術等の提案を募集し、開発や研究等の支援を行うことで、水草等対策の高度化を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
琵琶湖レジャー対策費	<p>19,130 (18,775)</p> <p>使 1,400</p> <p>寄 200</p> <p>諸 2,120</p> <p>⊖ 15,410</p>	<p>琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例に基づき、琵琶湖での適正なレジャー利用を推進し、環境負荷の低減を図る。</p> <p>1 プレジャーボートの航行規制 9,169 航行規制水域の指導監視と取締りを湖岸、湖上から行う。</p> <p>2 外来魚のリリース禁止 8,376 ボックス、いけすでの回収を行うとともに、県内や下流府県の小中学生を対象としたびわこルールキッズ事業等を実施し、外来魚のリリース禁止の普及啓発を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【循環社会推進課】</p> <p>循環型社会形成推進費</p>	<p>73,812 (85,405)</p> <p>財 41</p> <p>繰 28,678</p> <p>⊖ 45,093</p>	<p>廃棄物の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進するとともに、サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行を目指して、循環型の消費行動やライフスタイルへの転換を図る施策を推進する。</p> <p>1 産業廃棄物発生抑制等推進事業 58,393 滋賀県産業廃棄物税を産業廃棄物発生抑制等推進基金へ積み立て、リサイクル製品の認定および普及促進、産業廃棄物の3R促進やサーキュラーエコノミーの実現に向けた先進的な研究開発、施設整備等の支援に活用するとともに、3Rの先進取組事例の情報発信等により産業廃棄物の発生抑制と資源化を進める。</p> <p>2 ごみゼロしが推進事業 13,426 プラスチックごみや食品ロスの削減を県民運動として推進するため、「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」による普及啓発や、事業者の取組支援、フードドライブの推進等により、県民や事業者の実践取組を促進する。</p> <p>3 災害廃棄物処理体制強化事業 1,840 大規模災害に伴う災害廃棄物の発生に備えて、「滋賀県災害廃棄物処理計画」を適正に運用するため、訓練・研修等を行い、本県における災害廃棄物処理体制の強化を図る。</p>



事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
産業廃棄物対策事業費	159,103 (159,800)	<p>産業廃棄物の適正処理を推進するため、処理業者や排出事業者に対する監視、指導等を行うとともに、産業廃棄物の不適正事案に対して、迅速かつ厳正な対応を行い、県民の安全で快適な生活環境を保全する。</p>
国	17,908	
使	29,973	1 産業廃棄物適正処理対策事業 13,367 産業廃棄物処理業者やPCB廃棄物保管事業者等に対して、適正処理に関する指導、啓発等を行う。
繰	23,855	
諸	2,648	2 最終処分場特別対策事業 100,791 旧アール・ディエンジニアリング最終処分場について、引き続き周辺住民の安全・安心を確保するため、地下水等のモニタリング、浸透水の浄化処理および構造物の維持管理を行うとともに、跡地利用の検討やアーカイブの作成等を進める。
⊖	84,719	
		3 産業廃棄物不法投棄防止対策事業 18,968 産業廃棄物の適正処理に関する普及啓発や、休日夜間の業者委託によるパトロールに加え、地域住民など多様な主体との協働による監視体制を整備することで未然防止を図るとともに、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理事案には迅速かつ厳正に対応する。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【下水道課】</p> <p>流域下水道計画調査費</p>	<p>16,260 (279,886)</p> <p>繰 13,484</p> <p>⊖ 2,776</p>	<p>1 下水道を入口とした環境学習推進等事業 13,484  淡海環境プラザの展示物、スタンプラリー等の企画の充実および子育て世代の利便性を向上させることにより、環境保全に係る普及啓発を推進するとともに、淡海環境プラザの活性化につなげる。</p> <p>( ①展示物の整備、環境学習企画の充実 10,000 (7,000)  ②びわ湖材を活用した環境教育資材の整備 264 (-)  ③子育て世代の利便性向上(授乳室等の整備) 3,220 (-) )</p>
<p>汚水処理施設整備促進事業費</p>	<p>74,373 (74,373)</p> <p>⊖ 74,373</p>	<p>1 下水道終末処理場高度処理施設維持管理費補助金 17,385  公共下水道の下水道終末処理場において、琵琶湖の富栄養化を防止するため、窒素・リンの除去を行う高度処理施設の維持管理事業に対して補助金を交付する。</p> <p>4市5処理場(大津市、近江八幡市、甲賀市、高島市)</p> <p>2 汚水処理施設整備接続等交付金 56,988  公共用水域の水質保全を図るため、汚水等の汚濁負荷削減を目的とした4つの事業を実施する市町に対して支援を行う。</p> <p>(1) 公共下水道接続事業(6市1町) 28,617  (長浜市、栗東市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、竜王町)</p> <p>(2) 浄化槽設置整備事業(10市5町) 17,019  (大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、守山市、甲賀市、野洲市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、甲良町、多賀町)</p> <p>(3) 公共下水道整備事業(6市1町) 9,719  (彦根市、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町)</p> <p>(4) 公共下水道高度化事業(4市) 1,633  (彦根市、長浜市、草津市、東近江市)</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【森林政策課 ・ びわ湖材流通推進課 ・ 森林保全課】</p> <p>琵琶湖森林づくり事業費</p>	<p>1,669,484 (1,541,309)</p> <p>国 200,200</p> <p>財 77</p> <p>寄 50</p> <p>繰 607,857</p> <p>起 133,600</p> <p>○ 727,700</p>	<p>「琵琶湖森林づくり基本計画」に基づき、森林づくり県民税を充当し、環境を重視した森林づくりと県民協働による森林づくりを実施する。</p> <p>1 陽光差し込む健康な森林づくり事業 432,044 森林の公益的機能を高めるため、環境林の整備や除間伐を行うとともに、スギ・ヒノキの種子生産や水源林保全巡視員の配置などを行う。</p> <p>①環境林整備事業 56,379 ( 70,000) ②農地漁場水源確保森林整備事業 354,400 (354,400) ③スギ・ヒノキ採種園の造成及び育成管理 7,200 ( 6,119)</p> <p>2 次世代の森創生事業 11,000 森林の適切な更新を図り、次世代の森林の育成を推進するため、架線系作業システムの導入や再生林における獣害対策、カーボンオフセットの取組に対して支援する。</p> <p>3 森林を育む間伐材利用促進事業 43,902 間伐材の搬出・利用による森林資源の循環利用拡大を推進するため、間伐材の仕分け、搬出するための作業道の開設や高性能林業機械の利用に対して支援する。</p> <p>4 災害に強い森林づくり事業 12,000 風倒木等被害対策としての予防伐採の実施や、里山における獣害防止機能の強化により、災害に強い森林づくりを目指す市町の取組を支援する。</p> <p>5 協働の森づくりの啓発事業 15,973 「協働の森づくり」を広く県民に普及啓発し、県民の意識に定着させることにより、森林をみんなで守り育てようとする意識の高揚、森づくりへの県民参加の拡大と気運醸成を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>6 みんなの森づくり活動支援事業 6,330 市町、森林所有者および里山保全グループが協働で行う里山づくりや森林山村資源を活かした取組を支援する。</p> <p>7 未来へつなぐ木の良さ体感事業 297,072 住宅および公共施設を含む非住宅の木造化・木質化、新たな製品開発等の取組に対して支援するとともに、木育拠点施設の整備や木育に取り組む人材の育成等を行う。</p> <p>①びわ湖材を利用した住宅等の新設等に対する助成 53,228 (59,000)</p> <p>②びわ湖材の非住宅建築物への利用促進 72,195 (78,043)</p> <p>③森林資源の活用に関する技術開発の推進 3,213 (3,243)</p> <p>④木育拠点施設の整備 155,001 (-)</p> <p>8 森林環境学習事業 123,336 小学校4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」や森林等の自然を活かした自然保育等を推進する。</p>
<p>森林経営管理市町等 支援事業費</p>	<p>166,877 (152,402)</p> <p>財 15</p> <p>繰 111,349</p> <p>⊖ 55,513</p>	<p>森林整備に取り組む市町に対する支援等を実施する。</p> <p>1 森林整備支援等基金積立金 55,528 森林整備を実施する市町の支援等に必要経費に充てるため、資金を積み立てる。</p> <p>2 森林・林業人材育成事業 58,304 新規就業者の知識や技術の習得、既就業者の労働生産性向上、市町職員の森林経営管理の推進に向けた知識向上等のため、「滋賀もりづくりアカデミー」を運営する。</p> <p>3 森林境界明確化支援事業 53,045 森林境界明確化参考図の作成や森林情報アドバイザーの設置を行うとともに、市町等とリアルタイムに森林情報を共有し、森林管理等を推進するための「森林クラウド」を構築する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
森林組合振興対策費	179,611 (123,292)  国 35,037  財 1,637  繰上 36,955  諸 100,029  ① 5,953	<p>① 1 「新しい林業」構築モデル事業 62,824                      効率的な主伐・再造林の推進および花粉発生源対策を目的として、ICT等を活用したスマート林業を構築するためのモデル事業を立ち上げる。</p> <p>2 森林組合経営支援事業 100,000                      立木および原木の買取等による素材生産を行うのに必要な短期資金を貸し付ける。</p> <p>3 林業労働力対策事業 8,134                      林業労働力の確保、林業事業者の経営基盤強化および林業労働災害防止を図るための総合的な対策を実施する。</p> <p>4 林業人材育成システム構築事業 8,258                      県産材の安定的・効率的な供給体制を構築し、林業の成長産業化を実現するため、森林組合および事業者が地域における中核的な担い手としての役割を果たすことを目的に、人材育成を行う。</p>
林産物生産流通振興対策費	13,344 (13,046)  使 63  ① 13,281	<p>1 しがの林業・木材産業強化対策事業 11,986                      中間土場の整備および県産材の集約的な出荷等により、木材流通センターを核とした県産材流通の効率化・安定化を促進させる。</p> <p>①仕分土場の整備に対する支援 1,650 (1,500)                      ②仕分用機械レンタルに対する支援 6,300 (6,000)</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>「やまの健康」推進事業費</p>	<p>13,242 (16,550)</p> <p>国 5,225</p> <p>繰 8,017</p>	<p>1 「やまの健康」実践事業費 2,792 都市とやまをつなぎ、人や経済の循環を創出する「やまの健康」の実現に向け、これまでの取組を活かして都市部、特に企業に対して「やま」との関わりを提案し、具体的な地域との関わりを創出する。</p> <p>2 「やまと都市をつなぐ」森林山村地域活性化事業 10,450 長浜市北部地域において、森林サービス産業等の事業化や、森林資源を活かすための人材育成等を行うことで、山村地域の課題解決・活性化のモデルとなる取組を推進する。</p>
<p>造林公社運営費</p>	<p>2,977,540 (2,968,780)</p> <p>諸 55,496</p> <p>⊖ 2,922,044</p>	<p>一般社団法人滋賀県造林公社に対し、管理運営および森林整備に要する経費について出資金を支出するとともに、株式会社日本政策金融公庫に対し、免責的債務引受に基づく償還金を支出する。</p> <p>1 出資金 211,477</p> <p>2 償還金 2,764,809</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明												
林野関係公共事業	2,617,745 (2,622,941)	森林・林業関連の公共事業を実施する。												
	国 1,284,367	1 補助公共事業												
	分 3,250	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所数等</th> <th>予算見積額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助造林事業</td> <td>1,920ha</td> <td>830,610</td> </tr> <tr> <td>補助林道事業</td> <td>8路線</td> <td>145,940</td> </tr> <tr> <td>補助治山事業</td> <td>39箇所</td> <td>1,550,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	箇所数等	予算見積額	補助造林事業	1,920ha	830,610	補助林道事業	8路線	145,940	補助治山事業	39箇所	1,550,000
	事業名	箇所数等	予算見積額											
	補助造林事業	1,920ha	830,610											
	補助林道事業	8路線	145,940											
	補助治山事業	39箇所	1,550,000											
	起 1,175,200	<p>「新しい林業」構築モデル事業 40,634 (-) ※補助造林事業の内数</p>												
	⊖ 154,928	2 単独公共事業												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所数等</th> <th>予算見積額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独林道事業</td> <td>13路線</td> <td>11,724</td> </tr> <tr> <td>単独治山事業</td> <td>14箇所</td> <td>79,471</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	箇所数等	予算見積額	単独林道事業	13路線	11,724	単独治山事業	14箇所	79,471			
事業名	箇所数等	予算見積額												
単独林道事業	13路線	11,724												
単独治山事業	14箇所	79,471												
	<p>①伊吹山南斜面調査 15,000 (-) ②伊吹山筋工、植栽工、シカ対策工 1,800 (-) ③大音波谷川上流荒廃溪流調査 6,000 (-) ※単独治山事業の内数</p>													

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【自然環境保全課】</p> <p>自然公園等管理費</p>	<p>110,693 (116,481)</p> <p>国 3,825</p> <p>使 5,960</p> <p>起 44,200</p> <p>⊖ 56,708</p>	<p>自然公園施設等の維持管理や整備等を行う。</p> <p>1 しがの自然公園魅力向上事業 2,000 自然公園施設等の魅力向上に向けて、民間事業者との連携を推進するため、各公園施設の情報や連携事例を紹介するパンフレットを作成する。</p> <p>2 伊吹山保全等対策事業 42,500 伊吹山の表登山道復旧工事および山頂公衆便所の修繕を行う。</p> <p>3 自然公園施設等整備事業 9,000 東海自然歩道の吊橋点検・設計など自然公園施設等の整備を行う。</p>
<p>自然環境保全推進費</p>	<p>216,359 (246,958)</p> <p>国 12,800</p> <p>繰 8,836</p> <p>⊖ 194,723</p>	<p>ふるさと滋賀の野生動植物との共生に関する条例に基づき、希少種の保護を図るとともに、外来種の防除対策を推進し、生物多様性の保全に向けた総合的な対策を推進する。</p> <p>1 野生生物保全対策事業 3,912 「滋賀県で大切にすべき野生生物（滋賀県版レッドデータブック 2025年版）」の作成に必要な調査等を行う。</p> <p>挑 2 生物多様性しが戦略推進事業 5,938 「生物多様性しが戦略 2024」に基づき、生物多様性に対する県民や企業等の理解と行動を促すため、企業・市町等の伴走支援やセミナーの開催等を行う。</p> <p>3 侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業 190,600 琵琶湖の生態系への悪影響などが懸念されている「オオバナミズキンバイ」「ナガエツルノゲイトウ」等の侵略的外来水生植物について、戦略的な防除を行う。</p>



事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>4 ラムサール条約推進事業 2,936                      県内小学生から「ラムサールびわっこ大使」を募集し、環境学習での交流等により、次世代のリーダーを育成するとともに、鳥類の観察会を通して、ラムサール条約湿地としての琵琶湖や鳥類の保全について普及啓発を図る。</p> <p>5 外来生物防除対策事業 1,000                      外来生物対策の推進および普及啓発を図るため、特定外来生物の駆除対応の支援を行う。</p> <p>6 巨樹・巨木林保全活用事業 7,700                      琵琶湖源流域の水源の森に残されてきた巨樹・巨木林の保全活動等に対して支援を行うとともに、これらの自然資源を持続可能な形で活用するモデルとしてエコツアーを実施する。</p>
鳥獣対策費	<p>15,566 (13,896)</p> <p>⊖ 15,566</p>	<p>「鳥獣保護管理事業計画」に基づき、野生鳥獣の保護および管理ならびに狩猟の適正化に関する業務を総合的に実施し、適切な鳥獣の保護管理を推進する。</p> <p>1 ツキノワグマ第一種特定鳥獣保護計画推進事業 5,103                      「ツキノワグマ第一種特定鳥獣保護計画」に基づき、適切な保護管理を実施するため、生息状況調査で蓄積したデータを分析し、分布状況を推定する。また、人身被害を回避するため、出没予測調査を実施するとともに、クマの出没が少ない地域を含めて住民への情報提供等の対応を行う。</p> <p>2 獣害対策担い手育成事業 3,258                      捕獲技術者の確保および育成のため、射撃技能向上に資する講習を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
森林動物対策事業費	309,657 (280,603)	ニホンジカ、ニホンザル、カワウおよびイノシシの「第二種特定鳥獣管理計画」に基づき、捕獲を中心に有害鳥獣対策を実施し、農林水産業被害や生態系被害等の軽減を図る。
	国 165,109	
	繰 125,650	1 ニホンジカ対策事業 137,976 市町等が実施するニホンジカの捕獲に助成するとともに、捕獲条件が厳しい奥山等でニホンジカの調査や捕獲を行う。
	⊖ 18,898	
		2 ニホンザル対策事業 12,000 市町等が実施するニホンザルの調査や捕獲への助成を行う。  3 カワウ対策事業 30,931 市町等が実施するカワウの捕獲等への助成および竹生島等の大規模営巣地でカワウの捕獲を行う。また、安曇川において、集落近辺におけるカワウの銃器捕獲に関する安全管理マニュアルの作成等を行う。  4 第二種特定鳥獣対策推進事業 128,750 ニホンジカ、イノシシおよびニホンザルについて市町等が実施する捕獲に助成するとともに、生息動向のモニタリング調査等を行う。

琵琶湖流域下水道事業会計

単位：千円（税込）

当初予算見積額および説明【収益的収支】

1 重点的取組事項

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現する。

- (1) 下水道施設（管渠、ポンプ場、処理場等）の維持管理 9,101,854千円  
 湖南中部処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務を行う。  
 湖西処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務の他、市と下水汚泥の共同処理を行う。  
 東北部処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務を行う。  
 高島処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務の他、市と下水汚泥等の共同処理を行う。
- (2) 下水汚泥有効利用に関する調査研究 12,000千円  
 将来の下水汚泥処理施設の更新に活かすため、県内の大学や民間企業等の研究により、滋賀らしい下水汚泥有効利用技術の知見集積を行う。

- 挑 (3) 湖沼・水問題の解決に向けた国際協力と情報発信 3,946千円  
 [汚水処理分野における技術協力プロジェクト 2,000千円、世界水フォーラムへの参加 1,946千円]  
 滋賀県の汚水処理技術の継承・発展および県内企業の海外展開の足掛かりとすべく、閉鎖性水域の水環境問題を抱える海外地域を対象に、新たな技術協力を実施すべく現地調査と協議を行う。また、世界水フォーラムにおいて、琵琶湖の環境保全を通じて培った「琵琶湖モデル」や汚水処理技術の発信を行う。

- 新挑 (4) 官民連携マンホール広告等実施事業 467千円  
 下水道の整備により蓄積された下水道施設であるマンホールについて、広告等による有効活用策を有識者を交えて検討し、有効活用策の試行と確立を行う。

2 業務の予定量

流域関連公共下水道の処理区域の存する市町	13市6町
年間総処理水量	159,227,072m <sup>3</sup>
一日平均処理水量	436,239m <sup>3</sup> /日

3 収益的収支見積額

	前年度予算額	当年度予算見積額
事業収益 <span style="float: right;">A</span>	20,501,900	20,366,100
営業収益	9,023,304	8,986,609
うち維持管理負担金	8,774,004	8,714,203
他会計補助金	110,627	115,581
受託事業収益	138,289	156,300
その他営業収益	384	525
営業外収益	11,478,596	11,379,491
うち受取利息及び配当金	10	10
他会計補助金	2,100,965	2,111,206
長期前受金戻入	9,327,351	9,170,650
雑収益	50,270	97,625
事業費用 <span style="float: right;">B</span>	21,438,900	21,318,200
営業費用	20,869,593	20,773,393
うち管渠費・ポンプ場費・処理場費	8,911,691	8,957,554
受託事業費	138,289	156,300
総係費	378,448	378,205
減価償却費	11,379,603	11,206,209
資産減耗費	61,562	75,125
営業外費用	569,307	544,807
うち支払利息及び企業債取扱諸費	568,904	544,471
雑支出	403	336
差引収支 <span style="float: right;">A-B</span>	△ 937,000	△ 952,100
資金収支	1,176,814	1,158,584

当初予算見積額および説明【資本的収支】

1 主な建設改良事業

生活環境の改善と公共用水域の水質保全ならびに都市の健全な発達を図るため、流域下水道建設事業を推進する。  
13,522,958千円

- 湖南中部処理区：下水汚泥燃料化事業（3号焼却炉改築更新事業）、汚泥脱水設備改築更新工事、人孔防食工事（湖南幹線）、管渠築造工事（日野第二幹線）、ポンプ場耐震補強工事（安土ポンプ場）、ポンプ場改築更新工事（安土ポンプ場、宮井ポンプ場）、公園魅力向上推進事業（矢橋帰帆島公園）[遊具更新55,000千円、園路整備2,000千円]
- 湖西処理区：水処理設備改築更新工事、自家発電機更新工事、人孔防食工事（湖西北幹線）、ポンプ場耐震補強工事（清水ポンプ場）、ポンプ場改築更新工事（清水ポンプ場）
- 東北部処理区：水処理設備築造工事、汚泥処理設備改築更新工事、管渠築造工事（木之本西幹線、愛東東幹線、彦根南第二幹線）、ポンプ場改築更新工事（近江ポンプ場）
- 高島処理区：水処理設備増設工事、汚泥処理設備改築更新工事、用水給水設備改築更新工事、マンホールポンプ更新工事（高島南幹線）

2 資本的収支見積額

	前年度予算額	当年度予算見積額
資本的収入 A	13,206,200	15,318,900
企業債	3,349,400	3,824,600
県出資金	891,734	877,832
国補助金	6,754,664	7,946,055
建設負担金	2,191,120	2,626,713
他会計補助金	19,282	43,700
資本的支出 B	15,248,900	17,409,300
建設改良費	11,431,701	13,522,958
企業債償還金	3,778,944	3,886,342
返還金	38,255	—
差引収支 A-B (損益勘定留保資金等で補填する)	△ 2,042,700	△ 2,090,400

3 年度末下水道事業債等残高見込み

	前年度予算額	当年度予算見積額
年度末下水道事業債等借入金残高見込み	44,907,911	44,846,169
年度末損益勘定留保資金等残高見込み	1,351,607	1,371,891